

福島事故の放射線被害をなかったことにする、政府の福島復興政策
「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略 2017.12」の具体化

復興庁 放射線の「ホント」と文科省 2018年版放射線副読本 をならべて批判する緊急討論会

復興庁によって「放射線の『ホント』」が3月に出版されてから半年、ついに文科省から再改訂版「放射線副読本」が示されました（文科省ホームページ）。順次、全国の小、中、高校に配送される予定です。ほぼ全生徒数分の予算が付けられています。両冊子は閣議決定された「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略」（2017.12）に従っています。福島事故の放射線被害をなかったことにする安倍政権の福島復興政策なるものが全国に向けて本格化するのです。

2つの冊子を見れば、政府の復興政策なるものが何なのかよくわかると考えられます。このような「ウソ」で世論操作され、子どもたちの教育が行われて良いものでしょうか。内容を検討し、対策を相談しましょう。

2つの冊子は復興庁と文科省のHPから取り出せます。できればご持参ください。主催者も印刷しておきます。



10月26日(金)18:30~21:00

阿倍野市民学習センター第4会議室 (あべのベルタ3F)

主催: ヒバク反対キャンペーン、地球救出アクション97

連絡: 090-7090-1857 稲岡 Eメール minako-i@estate.ocn.ne.jp

参加は自由です。資料代 500円(学生 200円)